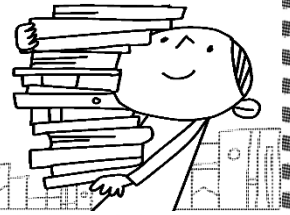


みんなでつながるわ!



今回は、学校公開で実施予定だった1、2年生の授業です。1年生は国語「どうぶつの赤ちゃん」、2年生は道徳「ぐみの木と小とり」を学習しました。

あたたかい心で 内容項目 B-(6) 親切、思いやり
道徳「ぐみの木と小とり」 2年生

本時のねらい

・りすから感謝された時の小鳥の気持ちを考えることを通して、親切はされた方だけでなく親切にした方もうれしくなることに気づき、相手のことを考えて自分から進んで親切にしようとする心情を育てる。

本時の流れ

① 本時で考えるテーマを捉える。
どんなことをしてもらったとき、親切だと思いましたか。

② 教材を読んだ感想を言い合う。
お話を読んで、どう思いましたか。

③ 小とりの気持ちを考える。
小とりは、嵐の様子を見てどのように考えたでしょう。※1

中心発問

りすさんから感謝された小とりは、どんな気持ちになっただろう。※2

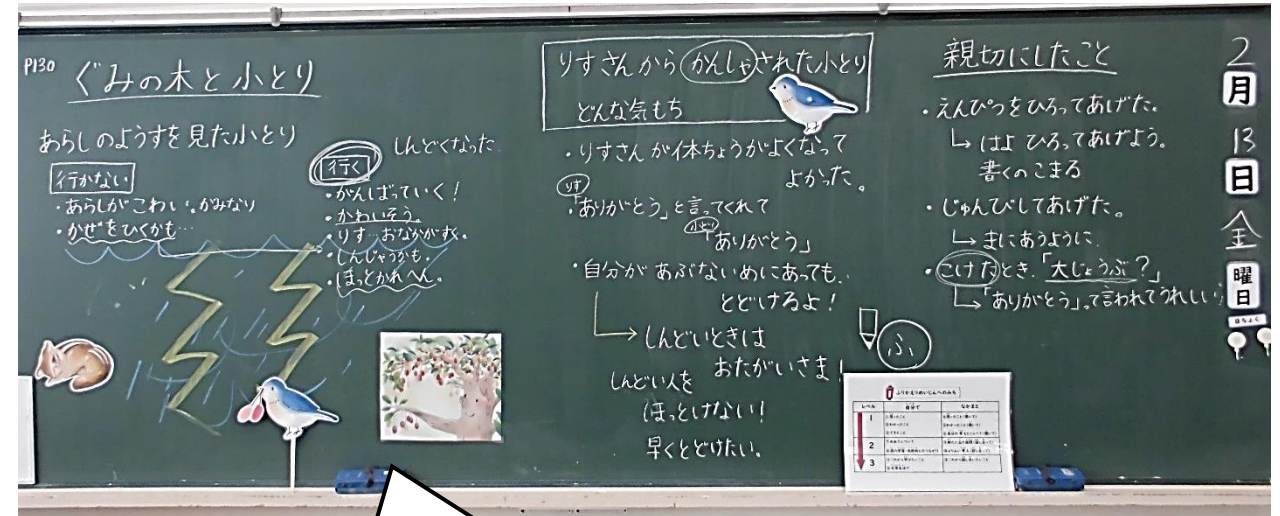
④ 自己を見つめる。
周りの人に親切にしたことはありますか。

⑤ 本時をふりかえる。

コの字型の座席配置



事前にとったアンケートをもとに、子どもたちに考えさせていました。
・「鉛筆を拾ってあげた。はよ拾ってあげよう、書くの困るから。」
・「(親切にした時)『ありがとう』と言われてうれしかった。」
などの発言が出てきました。



嵐の時、どんな音が鳴っているか、雨や雷の様子などを話し合わせた後、約束を守ってりすのもとに行くのか、行かないのかの意見とその理由を出し合いました。※1

☆中心発問での役割演技☆

りす役を教師、小とり役を子どもが行い、りすに感謝されて小とりがどんな気持ちになったかを考えさせていました。

※2 主発問

特別仲がいいわけでもなく頼まれただけなのに、どうして危ないめにあっても約束をまもったのかを、小グループで話し合い、さらに考えを深めています。

～授業者から～

内容項目が「親切・思いやり」の教材ですが、「感謝」に寄った授業になってしまいました。子どもたちの意見を大切にしつつ、何を考えさせたいのか、ぶれないようにしなくては、と思いました。



「東鳥取赤ちゃんどうぶつえんの飼育員」になって、学校中に動物の秘密を紹介しよう！ 国語「どうぶつの赤ちゃん」 1年生

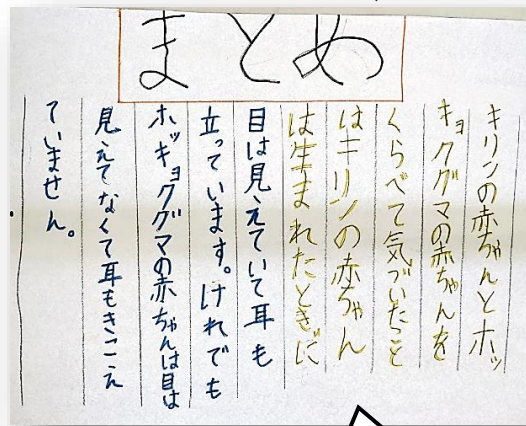
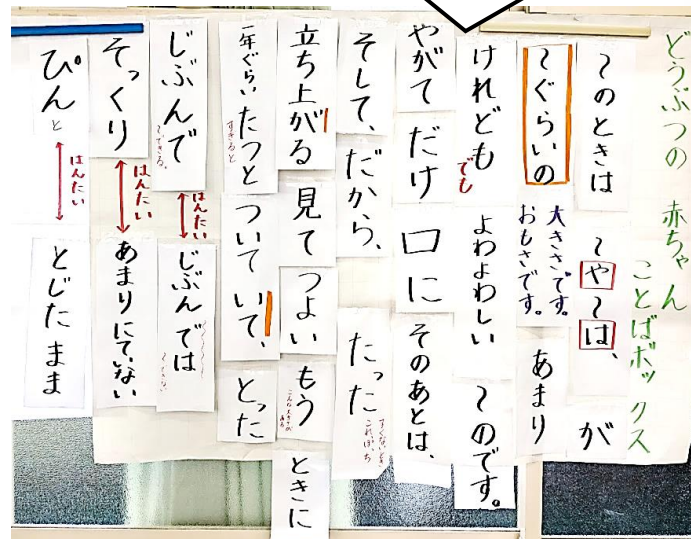
本時の目標

- ・カンガルーやほかの動物の赤ちゃんの「生まれた時の様子」と「育つ様子」を比較し、感じたことやわかったことを共有することができる。(C(1)カ)

本時の流れ (本時7/8)

- ① 単元のゴールをもとにめあてを立てる。
- ② 赤ちゃんカードを書く。
ひみつが伝わる赤ちゃんカードをつくろう
- ③ 書いた赤ちゃんカードを比較し、感じたこと、分かったことを共有する。
- ④ 本時の学習をふり返る。

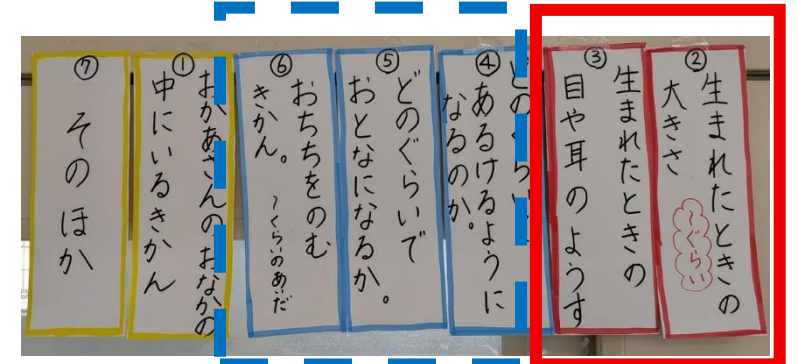
教科書教材を学習した際に集めたことばボックスを掲示し、子どもたちが参考にできるようにしていました。



赤ちゃんカードを比べて気づいたことを、自分たちの言葉でまとめたものです。

作った赤ちゃんカードは図書館に掲示して紹介

赤と青で色分けをして、視覚的支援をしました。そうすることで、対話を深めることができました。



～授業者から～

前単元を学習している時から、動物の赤ちゃんについて触れてきました。そのため、子どもたちは、動物の赤ちゃんに興味津々でした。どうぶつカードを書くにあたって、子どもたちは何に着目して書いたらよいかなど、しっかりと対話していました。また、色分けをしたことで、分かりやすく対比を学ばせることができました。